

公開プロセス結果の平成30年度予算概算要求への反映状況

(単位：百万円)

事業番号	事業名	平成28年度 補正後予算額	平成28年度		公開プロセス		平成29年度 当初予算額 A	平成30年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考
			執行可能額	執行額	評価結果	とりまとめコメント(概要)				反映額	反映内容	
008	市場の公正確保のための経費	72	72	70	事業全体の抜本的な改善：1名 事業内容の一部改善：3名 現状通り：2名	・市場の公正性・透明性の確保及び投資者保護の観点から事業の役割は重要であり、今後、事業拡大が予想される。 ・AIやビッグデータの活用を検討や、それに対応するIT専門人材の強化も必要。 ・効率的、効果的な調達に努めるとともに、適切な成果指標の導入を検討すること。 ・関係機関との役割分担の検討や、諸外国の対応状況の確認を行うこと。	94	285	192	-	執行等改善	○本経費については、効率的な予算執行の観点から、競争性の確保・コスト削減に努めていくこととするが、30年度においては、証券取引等監視委員会の市場監視機能の技術的課題を分析し、その課題の解決やAIやビッグデータを活用した取引の実態把握・分析を行うための新たなシステムの導入を進めるための経費の増額が見込まれることから、増額要求を行う。
合計		72	72	70			94	285	192			

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：平成29年度の点検の結果、事業を廃止し平成30年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：平成29年度の点検の結果、見直しが行われ平成30年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の縮減を行うものの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：平成29年度の点検の結果、平成30年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

「年度内に改善を検討」：平成29年度の点検の結果、平成30年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、平成29年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し平成30年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：平成29年度の点検の結果、平成30年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）